

授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単 位 数	対 象 学 年	学 期	曜・限	担 当 教 員
医療倫理学Ⅳ・メディカル インタビュー	必修	1・2	4	2	月・金	医療倫理学 今井浩光 臨床薬理学 上村尚人・関口愛
【科目名の英文】 Medical Ethics IV, Medical Interview						
【授業の概要】 まず、医療倫理学Ⅱ、Ⅲで学習した臨床倫理を振り返り、臨床実習に臨む前にその重要性を再確認する。関係性の倫理として、医療におけるプロフェッショナリズムと医療者-患者関係、医療コミュニケーションの学習を行う。また実践的態度、技能の修得のために、メディカルインタビューの実習を行う。講義と実習を通して、臨床実習開始時に必要な技能・態度を身につける。さらに患者と医師の良好な関係を築くために、患者の個別的背景を理解し、問題点を把握する能力を獲得する。						
【具体的な到達目標】 ① 医療者のプロフェッショナリズムを説明できる。 ② 生活者としての患者を理解し、疾病・症状を有することの意味を全人的に捉えることの重要性を説明できる。 ③適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ④医療面接における基本的コミュニケーション技法を用いることができる。 ⑤病歴（主訴、現病歴、常用薬、アレルギー歴、既往歴、家族歴、嗜好、生活習慣、社会歴・職業歴、生活環境、家庭環境、海外渡航歴、システムレビュー）を聴き取り、情報を取捨選択し整理できる。						
【授業の内容】						
回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法		
1	臨床倫理の再考	臨床倫理の振り返りと確認	医療倫理学・今井	講義		
2	個と社会の医療倫理	個と社会の関係性、医療・福祉政策の倫理	医療倫理学・今井	講義		
3	人生の最終段階の医療	エンド・オブ・ライフケアの倫理	医療倫理学・今井	講義		
4	メディカルインタビュー①	学生同士で面接のロールプレイ	医療倫理学・今井 臨床薬理学・上村・関口	実習		
5	メディカルインタビュー②	模擬患者を対象とした面接実習	医療倫理学・今井 臨床薬理学・上村・関口	実習		
【アクティブラーニングの内容】 学生同士でのロールプレイ、模擬患者との面接を小グループで行い、それについてグループディスカッションを行う。			【その他の工夫】			
【時間外学修の内容と時間の目安】 事前学修：メディカルインタビュー実習の前に医療面接学習用ビデオを必ず視聴する(2h) 事後学修：講義資料を元に復習を行う(2h) 面接実習で把握した学習課題を中心に医療面接の練習を行う(5h)						
【教科書】 教科書を指定しない。						
【参考書】 はじめての医療面接 斎藤清二著 医学書院 2000年						
【成績評価方法及び評価の割合】 (医療倫理学Ⅳ) 筆記テスト 100% (メディカルインタビュー) 臨床実習前 OSCE の医療面接評価 100%						

【注意事項】

医療倫理学Ⅳについては講義 3 日間のうち 2 日以上出席を必須とする。
メディカルインタビューについては 2 回の実習ともに出席を原則必須とする。

【備考】

教員の実務経験の有無	○	附属病院での診療
教員以外で指導に関わる 実務経験の有無	×	
実務経験をいかした 教育内容		診療の実務で起こる倫理的課題を教育プログラムに取り入れる。
授業形式		講義：対面（場合により Zoom 併用）、実習：対面